



# ASAHIGAWA ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2500 No.3 GROUP  
Established on October 26th.1934 RI No.3744

国際ロータリー第2500地区 第3分区

## 旭川ロータリークラブ 会報

第3353回例会 Vol.70 No.19 2018 (平成30)年12月7日 (金)

### ▼ プログラム

年次総会・新入会員卓話「弊社の取組」 園田直之 会員

### メニュー

- ・ボルシチ
- ・真鱈と雲子 小海老のムニエルと野菜のバターソース 胡椒風味
- ・サラダ
- ・コーヒー又は紅茶
- ・パンとバター

### 疾病予防と治療月間

#### 出席報告

第3352回例会 11月30日	第3351回例会 11月16日	第3350回例会 11月9日
会 員 74名	会 員 74名	会 員 74名
出 席 40名	修正出席 58名	修正出席 55名
出席率 54.05%	修正出席率 78.38%	修正出席率 74.32%

### RIテーマ

会長 バリー・ラシン

## “インスピレーションになろう”

12月14日 (金) 第3354回例会プログラム

年末ファミリーパーティー

### これからの予定

12月21日 (金) 会員卓話 小林 亨 会員

12月28日 (金) 休会

1月4日 (金) 休会 (正月)

11月30日 (金) 第3352回例会の記録

開 会 宣 言 尾田利雄 会場監督

点 鐘 会長 12:30

ロータリーソング斉唱 それでこそロータリー

- 会 長 鎌田嘉範
- 編 集 IT・会報委員会
- 委員長 宗万脩史
- 担 当 中野 信
- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 事務局 前野房子
- 例会場 星野リゾート OMO7 旭川 〒070-0036 旭川市6条通9丁目 TEL (0166) 29-2777 FAX 24-2114
- 事務局 道北経済センタービル 2F 〒070-0043 旭川市常盤通1丁目 TEL (0166) 25-1551 FAX 23-3398
- ホームページ <http://www.asahigawarc.org/>
- Facebook [facebook.com/asahigawaRC/](https://www.facebook.com/asahigawaRC/)



facebook

## 会長挨拶：鎌田嘉範

皆様こんにちは。本日ゲストスピーチをしていただきます、一般社団法人終活相談ネットワーク北海道代表理事 森裕子様、ようこそいらっしゃいました。後ほどのご講演を楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。また、旭川北ロータリークラブ 会長 吉川裕二様、ようこそお越し下さいました。どうぞごゆっくりお過ごし下さい。

さて、会員の皆様にご連絡をいたしました。去る11月19日に、高桑辰夫元会員がご逝去されました。行年91才でございました。旭川ロータリークラブには、1967（昭和42）年5月12日に入会され、1987（昭和62）年に副会長、1991（平成3）年に会長を務められました。そして、今年6月、体調を崩されて退会されましたが、在籍51年、その間ポール・ハリス・フェロー、メジャー・ドナー・米山メジャー・ドナーなどの表彰を受け、調べて見ますと、旭川ロータリークラブでただ一人、四大奉仕部門功労者賞をRI会長よりいただいております。また、昨年の地区大会では50年皆勤出席の優秀会員表彰を受けられるなど、偉大なる大先輩を失いました。心よりご冥福をお祈りする次第でございます。

ここで、高桑元会員のご功績を偲び、黙祷を捧げたいと存じます。皆様にはご起立をお願いいたします。黙祷始め、・・・黙祷終わります。皆様ご着席下さい。

さて、今週の月曜日に、菅原ロータリー情報委員長並びに関連委員会の皆様にご苦勞をいただき、炉辺会合を開催いたしました。入会5年未満の会員12名を含む20名の皆様にご出席をいただきました。原田隆久会員に、旭川ロータリークラブの歴史や今までの経験に基づいた貴重なロータリーの知識、また、未来に向けては変革が大事であると、笑いを交えてのご講和をいただきました。ほんとう

にありがとうございました。そして何よりも、出席されていた皆様が、ロータリアンの三大義務のひとつである例会の出席が重要であるとの認識を共有することができ、大変有意義な会合であったと存じます。今年度はもう一回開催させていただきますので、まだ出席いただいていない会員の皆様には、是非ご出席いただけますようよろしくお願いいたします。それではお食事にいたします。

## 12月例会変更通知

6日(木)	旭川東北RC	夜間例会	トーヨーホテル
11日(火)	旭川西RC	夜間例会	アートホテル
朝⇒13日(木)	旭川MRC	夜間例会	アートホテル
13日(木)	旭川東RC	例会日変更	アートホテル
13日(木)	旭川東北RC	夜間例会	トーヨーホテル
17日(月)	旭川南RC	夜間例会	アートホテル
18日(火)	旭川空港RC	夜間例会	東神楽町商工会1F
19日(水)	旭川北RC	夜間例会	O M O 7
20日(木)	旭川東RC	夜間例会	アートホテル
25日(火)	旭川空港RC	休 会	東神楽町商工会1F
26日(水)	旭川北RC	休 会	O M O 7
朝⇒27日(木)	旭川MRC	休 会	アートホテル
27日(木)	旭川東北RC	休 会	トーヨーホテル
31日(月)	旭川南RC	休 会	アートホテル

## 委員会報告

浅井傑親睦活動委員長より

12月14日の年末家族懇親会について。

菅原康晴ロータリー情報委員長より

炉辺会合について。

## ビジター紹介

吉川裕二 さん 旭川北RC

(職業分類：不動産取引)

## ニコニコボックス

鎌田嘉範 君

皆様のおかげで、炉辺会合を有意義に終えることができました。ありがとうございました。

菅原康晴 君

今週26日(月)、無事、炉辺会合を終了する事が出来ました。ありがとうございました。

山本憲彦 君

11月生まれの私と家内にプレゼントありがとうございました。

工藤和繁 君

誕生日プレゼント、ありがとうございました。

吉田 裕 君

家内にきれいなお花が届きました。ありがとうございました。

山本倫生 君

妻への誕生日のお花をありがとうございました。助かります。

須藤良太 君

妻の誕生日にお花をいただき、ありがとうございました。

本間雅博 君

妻の誕生日に素敵な御花をありがとうございます。

星野 豊 君

ブラタモリ高視聴率15%達成。旭川の皆さん、ありがとうございました。

## メークアップ

11月23日(金)～11月30日(金)迄 敬称略

[11月25日(日) 地区財団セミナーへ]

新田 守

[11月26日(月) 炉辺会合へ]

青山貴志・浅井 傑・鎌田嘉範・小滝達也

小林 亨・菅原康晴・助安久雄・須藤良太  
西山 仁・新田 守・野崎和彦・原田隆久  
福井 圭・星野 豊・本間雅博・水上 崇  
山本憲彦・半澤 尚・中本浩信

[11月26日(月) 札幌北へ]

小森林正司郎

[11月27日(火) 旭川西へ]

吉田 裕・長木克文・西山 仁・出口絢一  
前田政克・嶋岡邦雄・杉尾伸夫・小林 亨  
小林秀次・若井賢治

[11月27日(火) 旭川空港へ]

山下裕久

[11月29日(木) 旭川東へ]

島 典賢・小林秀次・原田一道・水上 崇  
野崎和彦

[11月22日(木) 旭川東へ]

中野典一・浅井 傑・中本浩信・工藤和繁

## プログラム

ゲストスピーチ「60代からの終活」

終活相談ネットワーク北海道

主宰 森 裕子 さん



60代からの終活

～特に男性がしておくべきこと

「終活」という言葉が流行語大賞にノミネートされたのは、2010年のことです。その年の大賞は「女子会」で、特別賞は「僕は何か持ってると言われ続けてきました。今日それが何か、わかりました。それは仲間です」

でした。誰の言葉か覚えていますか？

北海道日本ハムファイターズの齋藤祐樹さんです。あれから8年。彼の言葉がすでに色あせてしまったのに対し「終活」のブームは益々、勢いを増している感があります。

「老いては子に従え、跡取りが居るから安心」そんな概念は消えて「死に支度は自分ですべき」、また「死んでからの事も自分で決めたい」という考えが広まり、終活が広がりました。死を考えることが、全くタブーではなくなり、当然の備えになりました。

ブームは、具体的には自分たちで生前に葬儀、墓を準備することから始まりました。その原動力になったのは、婚家の墓に入りたくないという妻達の気持ちであったように思います。墓が思い通りになるならば、葬儀も！ということで、葬儀会場の見学、お弁当の試食、棺桶への入棺体験、遺影撮影などできる終活イベントが流行し、まるで結婚式場の下見のような様子で、沢山の中高年女性が参加しました。その頃、男性は「俺が死んだら、骨はそこら辺にまいてくれて云ってるんだ」などと、気楽な姿勢でした。

はじめは女性に偏っていた終活への関心が男性にも高まったのは、女性の平均寿命が百才に届く勢いであることが一因です。60代、70代で自分が終活を迫られる年齢になっても、まだ、親が健在なのです。

終活が語られるようになってまだ8年。80代、90代の親御さんは終活の概念がないまま年を取ってしまいました。平均寿命の著しい伸び、社会情勢の激しい変化についていくことができない世代です。実際に親を看取った世代から、色々大変だったという話がひろがります。終活を指南する団体ができ、セミナーが盛んに開催されるようになると、終活の関心が死に支度から「老い支度」へとシフトしていきました。

そこで中高年男性も終活に乗り出します。親が動けなくなったら、認知症になったらど

うしたらよいか。病気になったらどんな治療を選択するか。空き家になった実家をどうするか。預貯金はどうなっているのか？荷物はどうする？墓は？遺産相続は？・・・次々と課題が押し寄せてきます。

そこで気がつきます。「俺の代は何とかしてやれるが、息子・娘の代では無理だ。自分達の老後、死後の準備は自分達でしておかなければ」と。さあ、終活開始です。

60代になったら、自分の終活としてまず、平均寿命まで生きたときの、収入を試算してみることです。今の収入はいつまで続くか、年金はいくらか調べ、今後の生活費の目処を立てます。そして、保険、預貯金などを、自分しか知らない、また、妻しか知らない場合は共通理解しておきます。

自分亡き後、相続で揉めないように、遺言を書く必要もあるかもしれません。回復の見込みがないとき、どんな終末医療を望むのか明記しておく必要もあります。

また、死後に禍根を残さないように、遺品整理も心がけましょう。最近パソコン、スマホに残るデジタル遺品の扱いも注目されています。もちろん、葬儀や埋葬の用意があれば、家族は助かります。

終活は、自分の残りの人生を考えることで、今をより良くいきる活動です。逝く者の安心と遺される者への愛が終活の神髄です。

点鐘 会長 13:30

### 今月誕生日を迎える会員

昭和25年12月15日 新崎 裕一 会員

昭和26年12月6日 新田 守 会員

昭和41年12月11日 水上 崇 会員

計3名